

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

<p>1 教育方針・目標の理解</p> <p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>2 意欲的な学校生活</p> <p>子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。</p>	<p>3 教師の連携協力</p> <p>学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>教職員</p>

【学校から】
 ◦保護者と児童の60%以上が、「楽しい学校生活と思う」と答え、高い評価をいただいた。今後も、児童にわかりやすい具体的な教育目標を設定し、学校教育の目標達成に努力していく。その達成感を味わうことで、さらに充実した楽しい学校生活になるようにする。

<p>4 授業づくりの工夫</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>5 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>

【学校から】
 ◦「わかる授業や楽しい授業」「意欲的に取り組む」ことに、児童の約15%が、どちらかというそう思わないと答えている。毎時間の到達目標や自己評価の充実と授業参観を通して校内研修の充実を図り、「わかる授業や楽しい授業」に取り組んでいく。

6 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者

児童

教職員

【学校から】
 ◦総合的な学習の時間の年間発表を3学期に企画している。年間の見通しを持たせ、自主的に取り組んでいく。

道徳教育 心の教育

<p>7 道徳、心の教育の充実</p> <p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>8 あいさつ、礼儀の励行</p> <p>子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>

【学校から】
 ◦あいさつや礼儀は正しい方だと感じているが、保護者・児童・教職員とも、「どちらかというできていないと思う」が10%である。「できていない」も50%以下で低い。道徳教育の公開授業や心の教育の重点月間や旬間を設定し、充実を図る。

人権教育

<p>9 一人一人の生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p>10 友だちへの思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくできていると思いますか。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>

【学校から】
 ◦人権教育の啓発の講話や集会などを取り入れ、人権教育に取り組んでいる。さらに、一人一人の子どもを大切に授業を中心に、学校生活全体で人権教育に取り組んでいく。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者

教職員

【学校から】
 ◦特別支援コーディネーターを中心に、一人一人の特性を大切に特別支援教育に取り組んでいる。今後も一人一人のニーズを大切に、特別支援教育の立場に立った授業に取り組んでいく。

生徒指導 教育相談

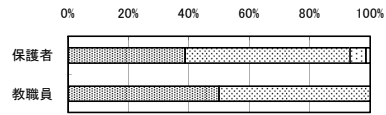
<p>12 生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>13 規範意識</p> <p>子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>14 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>保護者</p> <p>児童</p> <p>教職員</p>

【学校から】
 ◦子どもたち自身にも、決まりやマナーを守っている意識がない。学校の決まりの徹底や児童理解、いじめ根絶対応として『生活ノート』や教育相談日の活用、個人カルテの作成などに取り組んでいく。

健康教育 安全

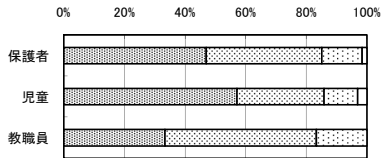
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



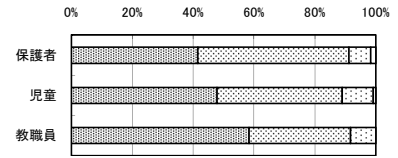
【学校から】

家庭に呼びかけ、『早寝、早起き、朝ごはん』の基本的な生活習慣の育成に学校全体で取り組んできた。さらに、子ども達が自分の体の“健康と安全”、外遊びやスポーツでの“体力向上”のため、活動の「時間の確保」と「場所の確保」を行う。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



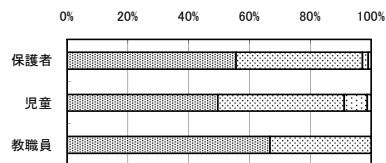
【学校から】

学校行事を一方通行、自己満足で終わらせないために、学校行事についてのアンケートや意見をいただく。また、学校行事の教育的な意義についても保護者や地域に発信していく努力を行う。

学校環境

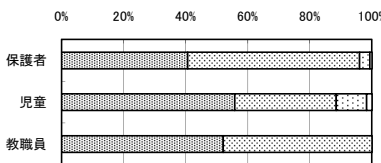
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。



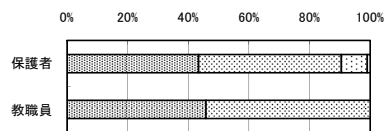
【学校から】

校舎内外の整備（花壇や掲示等）や施設の整備や安全性について、児童の約10%が、整備されていないとの声があった。児童の要望や声、活動を取り入れることを通して、『児童とともに作る学校環境』を目指していく。

情報の公開・発信

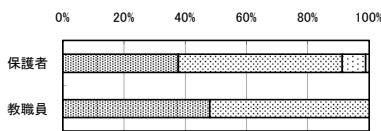
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



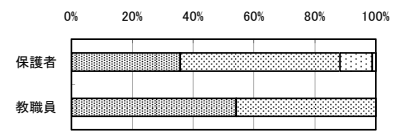
【学校から】

情報の発信方法として、学級通信・学年通信・保健だより・PTA新聞・学校だよりを発信している。さらに、次年度は、情報発信の内容を保護者や地域の要望をまず伺い、情報公開・発信にいかしていくこととする。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



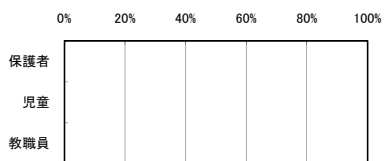
【学校から】

学校行事でも、地域や家庭との連携を密にしながら教育活動を実施している。しかし、学校からの一方通行のみに終始しないよう、家庭や地域の感想や意見を伺う。また意見交換をしながら、教育活動の目標を確認しつつ、地域や家庭との連携を図っていく。

(学校独自)

23 0

0

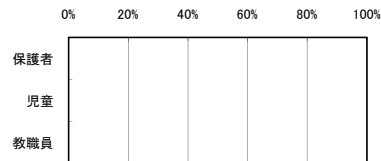


【学校から】

(学校独自)

24 0

0

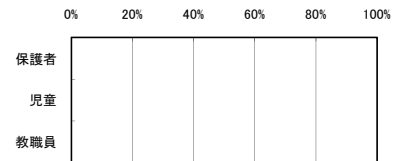


【学校から】

(学校独自)

25 0

0



【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

ほとんどの項目で、80%~90%が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と合わせたものとなった。その中で、決まりやマナーを守っていく規範意識、意欲的な学習態度、一人一人を大切にしたい指導が落ち込み、力を注ぐ必要がある。そこで、来年度は、知育：「一人一人の考えを生かしたわかる授業や楽しい授業」、徳育：「きまりやマナーを守っていく規範意識」、体育：「遊具を活用した体力向上」を中心に取り組んでいく。

学校関係者評価

学校関係者からの評価は、概ね良好な評価をいただいた。具体的には、次のような点についてご意見をいただいた。「健康教育の観点から、知育、徳育、体育に食育を入れてほしい。」また、学校評議員で保護者の立場の方からは、「保護者の立場では、アンケートに答えづらいところがあった。」それから、「いじめの捉え方に保護者、児童、教職員に差がある。あまり関心がない家庭があるのではないか。」「特別支援教育では、児童と教職員は共通理解している。児童と保護者の情報が少し違うところがあるのではないか。」等のご意見をいただいた。今後は、このようなことにも配慮しながら、これからの教育に活かしていきたい。

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。	学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

【学校から】
 ◦保護者と児童の60%以上が、「楽しい学校生活と思う」と答え、高い評価をいただいた。今後も、児童にわかりやすい具体的な教育目標を設定し、学校教育の目標達成に努力していく。その達成感を味わうことで、さらに充実した楽しい学校生活になるようにする。

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度	6 総合的な学習の時間
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 ◦「わかる授業や楽しい授業」「意欲的に取り組む」ことに、児童の約15%が、どちらかというそう思わないと答えている。毎時間の到達目標や自己評価の充実と授業参観を通して校内研修の充実を図り、「わかる授業や楽しい授業」に取り組んでいく。</p>		<p>【学校から】 ◦総合的な学習の時間の年間発表を3学期に企画している。年間の見通しを持たせ、自主的に取り組んでいく。</p>

道徳教育 心の教育		【学校から】
7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行	◦あいさつや礼儀は正しい方だと感じているが、保護者・児童・教職員とも、「どちらかというできていないと思う」が10%である。「できていない」も50%以下で低い。道徳教育の公開授業や心の教育の重点月間や旬間を設定し、充実を図る。
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。	子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。	

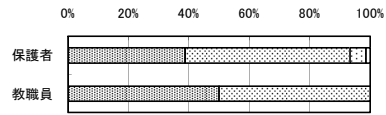
人権教育		特別支援教育
9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり	11 学校の支援体制
学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 ◦人権教育の啓発の講話や集会などを取り入れ、人権教育に取り組んでいる。さらに、一人一人の子どもを大切に授業を中心に、学校生活全体で人権教育に取り組んでいく。</p>		<p>【学校から】 ◦特別支援コーディネーターを中心に、一人一人の特性を大切に特別支援教育に取り組んでいる。今後も一人一人のニーズを大切に、特別支援教育の立場に立った授業に取り組んでいく。</p>

生徒指導 教育相談		
12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。
<p>【学校から】 ◦子どもたち自身にも、決まりやマナーを守っている意識がない。学校の決まりの徹底や児童理解、いじめ根絶対応として『生活ノート』や教育相談日の活用、個人カルテの作成などに取り組んでいく。</p>		

健康教育 安全

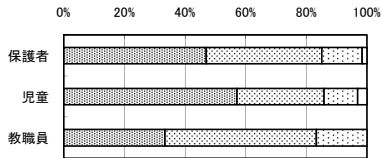
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



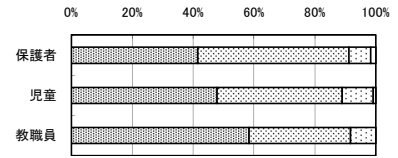
【学校から】

家庭に呼びかけ、『早寝、早起き、朝ごはん』の基本的な生活習慣の育成に学校全体で取り組んできた。さらに、子ども達が自分の体の“健康と安全”、外遊びやスポーツでの“体力向上”のため、活動の「時間の確保」と「場所の確保」を行う。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



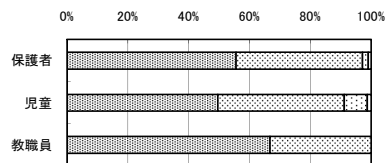
【学校から】

学校行事を一方通行、自己満足で終わらせないために、学校行事についてのアンケートや意見をいただく。また、学校行事の教育的な意義についても保護者や地域に発信していく努力を行う。

学校環境

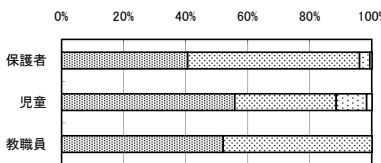
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。



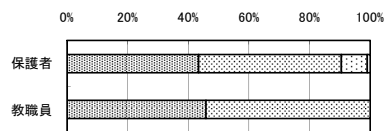
【学校から】

校舎内外の整備（花壇や掲示等）や施設の整備や安全性について、児童の約10%が、整備されていないとの声があった。児童の要望や声、活動を取り入れることを通して、『児童とともに作る学校環境』を目指していく。

情報の公開・発信

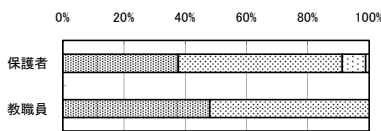
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



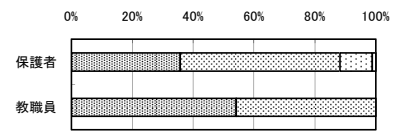
【学校から】

情報の発信方法として、学級通信・学年通信・保健だより・PTA新聞・学校だよりを発信している。さらに、次年度は、情報発信の内容を保護者や地域の要望をまず伺い、情報公開・発信にいかしていくこととする。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



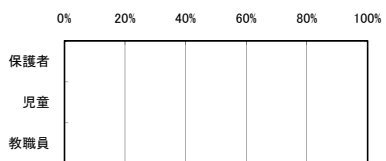
【学校から】

学校行事でも、地域や家庭との連携を密にしながら教育活動を実施している。しかし、学校からの一方通行のみに終始しないよう、家庭や地域の感想や意見を伺う。また意見交換をしながら、教育活動の目標を確認しつつ、地域や家庭との連携を図っていく。

(学校独自)

23 0

0



【学校から】

(学校独自)

24 0

0

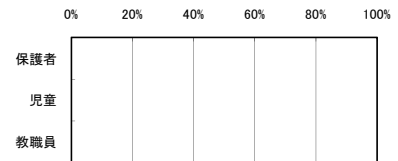


【学校から】

(学校独自)

25 0

0



【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

ほとんどの項目で、80%~90%が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と合わせたものとなった。その中で、決まりやマナーを守っていく規範意識、意欲的な学習態度、一人一人を大切にしたい指導が落ち込み、力を注ぐ必要がある。そこで、来年度は、知育：「一人一人の考えを生かしたわかる授業や楽しい授業」、徳育：「きまりやマナーを守っていく規範意識」、体育：「遊具を活用した体力向上」を中心に取り組んでいく。

学校関係者評価

学校関係者からの評価は、概ね良好な評価をいただいた。具体的には、次のような点についてご意見をいただいた。「健康教育の観点から、知育、徳育、体育に食育を入れてほしい。」また、学校評議員で保護者の立場の方からは、「保護者の立場では、アンケートに答えづらいところがあった。」それから、「いじめの捉え方に保護者、児童、教職員に差がある。あまり関心がない家庭があるのではないか。」「特別支援教育では、児童と教職員は共通理解している。児童と保護者の情報が少し違うところがあるのではないか。」等のご意見をいただいた。今後は、このようなことにも配慮しながら、これからの教育に活かしていきたい。